

片側顔面痙攣

[症例へ（個人情報保護の問題有り詳細は外来で）](#)

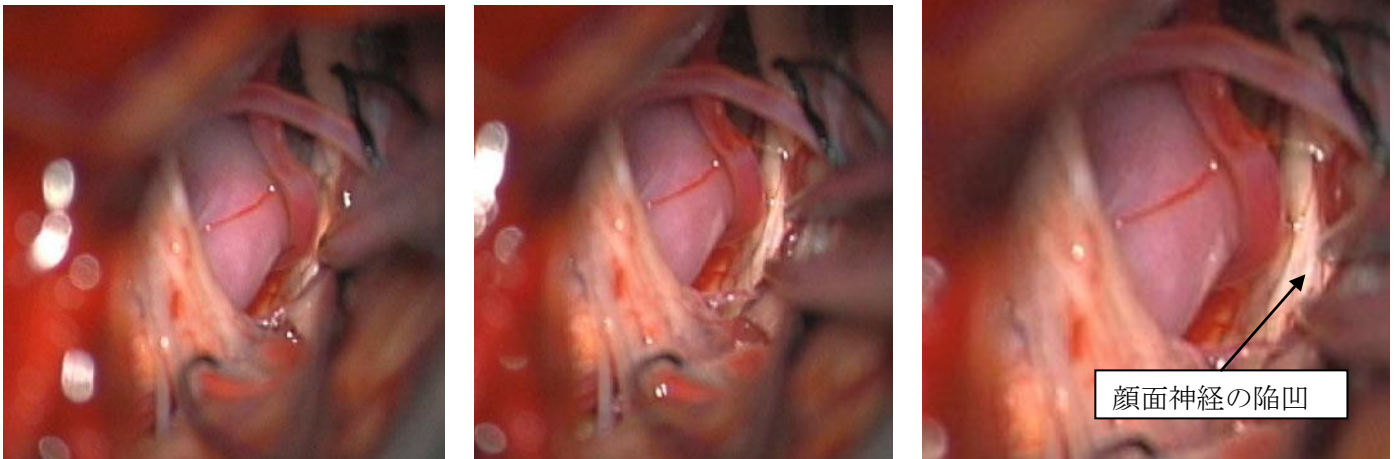
成人の顔面の片側に顔面筋の不随意・間欠的痙攣がみられるのが顔面痙攣です。

一側の目の周囲から始まり、徐々に顔面全体に及んでいきます。痙攣は回数や強さを増し、持続するようになります。痙攣は疲労、ストレス、心配・不安、自意識などで増強されることが多いと言われます。中年以降の女性に多いと言われ（人口10万人につき女性14.5人、男性7.4人）ています。

病因と病態：

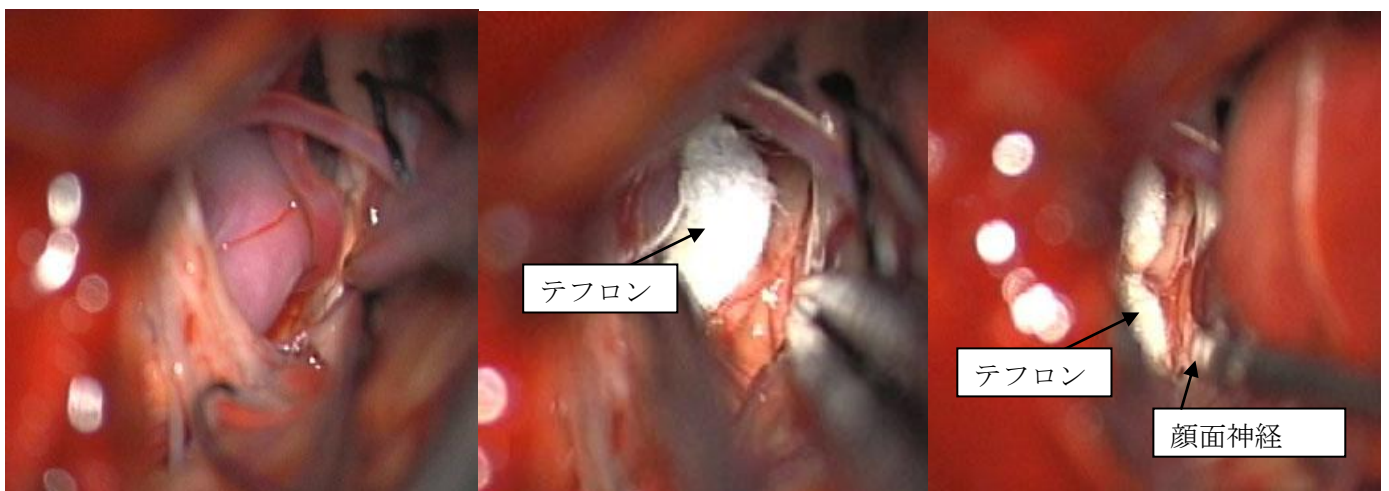
顔面神経が脳幹の橋から出る部位は弱いと言われ、圧迫されることによって圧迫部の軸索に短絡伝達（ショート）が発生して痙攣がおこる様です。

圧迫するもの：主として動脈が圧迫している。



動脈以外の原因に、動脈瘤、血管奇形、静脈、腫瘍、くも膜の肥厚など。

治療： 全身麻酔下に耳介後方に小切開を加えて、小さな開頭をします。顕微鏡下に小脳をよけて顔面神経の根元に至り、圧迫しているものを除去します。殆どの場合が動脈なので動脈を神経の根元から離して、脳幹との間にクッションを入れて、圧迫を除去します（神経血管減圧術）。



効果：（Jannetta 1990 JNS） 89%症状消失（10%が二度の手術を要している）、5%症状改善、6%無効
（Iwakuma 1982） 97%症状消失、1.5%著明改善、1.5%無効、1.5%再発

症状消失時間経過： YIさん 術後2ヵ月半で消失。 MMさん 術後6ヶ月で消失。

合併症（文献上）：3%聴力障害、6%[顔面神経麻痺](#)、0.2%死亡

手術時間：約 3 時間

入院期間（山口県立総合医療センター脳神経外科 1 4～4 4 日（平均 2 5 日）

入院費用：3 割負担 1 5 日間入院した方： 約 30 万円（高額医療費の還付手続きすると約 8 万円
（家庭の収入により差があります）

[ボツリヌス毒素治療](#)：局所に薬を注射します。2～3 ヶ月効果あり、4 ヶ月で再注射が必要です。

副作用：蕁麻疹、眼瞼下垂、口角下垂、抗体産生による効果の減弱。

[（ボツリヌス治療経験者の経過については外来で説明）](#)